

新規事業評価調書

【交通安全施設事業】

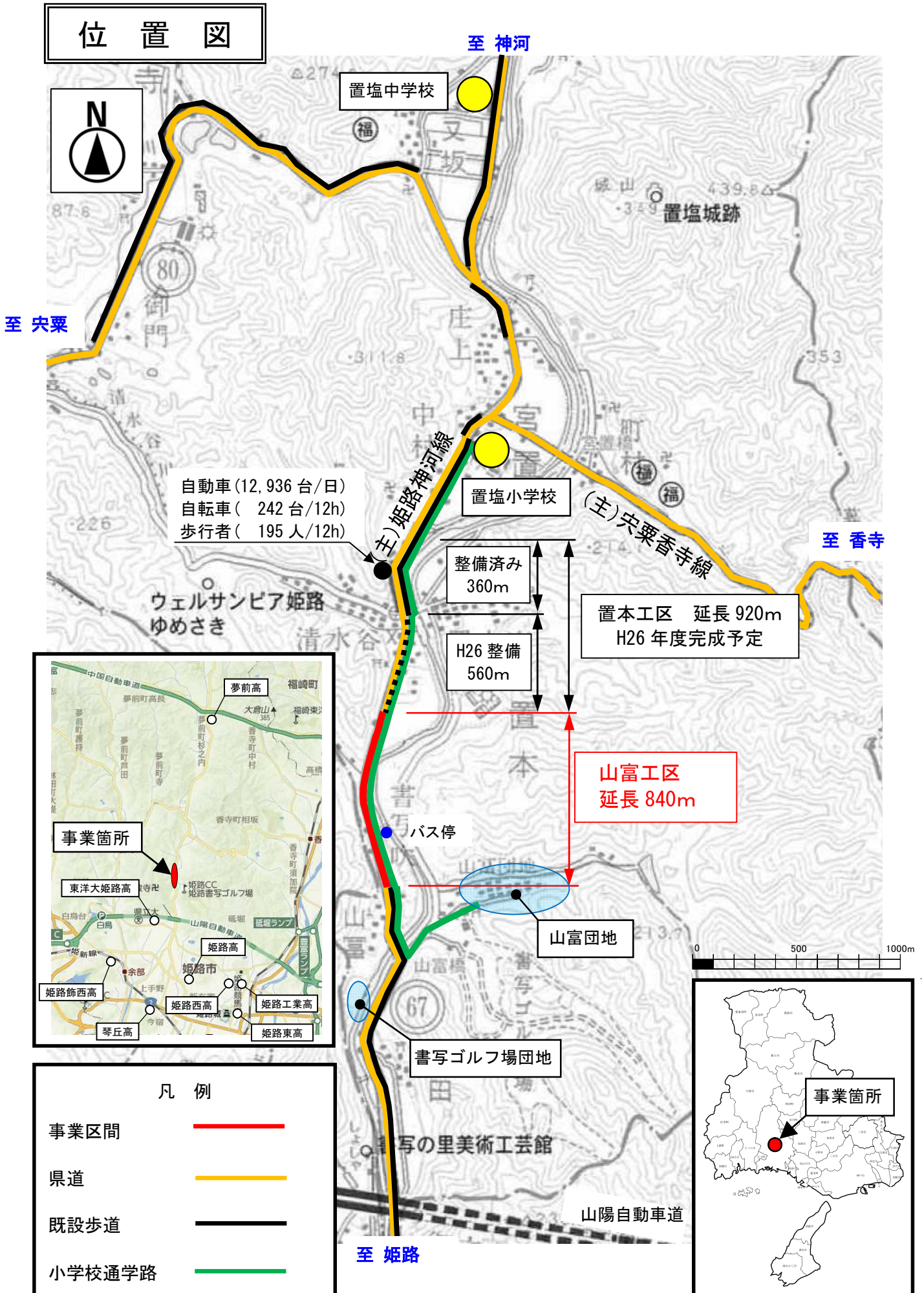
主要地方道 姫路神河線

県土整備部
土木局 道路保全課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 濱 浩二 (主幹 山名 孝志)	内線	4389 (4399)	
事業 種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地 補償費	着手予定 年度	完了予定 年度
交通安全 施設事業	主要地方道 姫路神河線	姫路市 夢前町山富	5.0 億円	1.9 億円	平成 27 年度	平成 30 年度
事業目的			事業内容			
<p>○安全な自転車・歩行者通行の確保</p> <p>当該区間は、置塩小学校の通学路であることに加え、置塩中学生・夢前高校生等の通学に利用されているが、歩道が未整備であり、非常に危険な状況となっている。</p> <p>このため、自転車歩行者道を整備し、通学児童等の安全と自動車の円滑な交通を確保する。</p>			<p>自転車歩行者道整備 延長：840m 幅員：3.5m（片側歩道） 現況交通量（H22 年センサ） 自動車：12,936 台／日 自転車： 242 台／12h 歩行者： 195 人／12h</p> <p>[負担割合 国:55%、県:45%]</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 当該区間は、置塩小学校（約10人）や周辺の高校（約70人）への通学に利用されているが、歩道が未整備であるため、歩行者および自転車は狭い路肩（50cm）を通行せざるを得ない状況であり、非常に危険な状況である。</p> <p>※その他、置塩中学校（約10人）等への通学生は、当該区間が危険であるため、やむなく遠回りである対岸の市道を利用。</p> <p>② 当該区間の整備が完了すれば、整備済の前後区間とあわせて、小学校等への安全な歩行空間が確保される。</p> <p>③ 姫路と夢前を結ぶ唯一のバス路線（47便/日）であり、当該区間内にバス停があるが、バスの乗降スペースもなく、バス利用者は危険な状況である。</p> <p>④ 過去5年の全事故件数は7件、うち自転車・歩行者の関係する事故は2件。</p> <p>⑤ 合併前の姫路市と夢前町との境界に位置する本地区周辺では、団地開発等が進められ、それらからの通学生が当該区間を利用している。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性	① 自転車歩行者道の整備により、通学児童等の安全な通行が確保される。					
(3) 環境適合性	① 歩道舗装を透水性舗装とし、雨水の地下への還元を図る。					
(4) 優先性	<p>① 緊急合同点検（H24.8実施、姫路市・地元住民・小学校関係者等）において、当該区間での通学児童の危険性が指摘されている。</p> <p>② 当該工区の南側は歩道整備済み、当該工区の北側の置本工区は、今年度完了予定であり、当該区間の整備で連続した歩行空間を確保できる。</p>					

位置図



自動車 (12,936 台/日)
 自転車 (242 台/12h)
 歩行者 (195 人/12h)

整備済み 360m
 H26 整備 560m

置本工区 延長 920m
 H26 年度完成予定

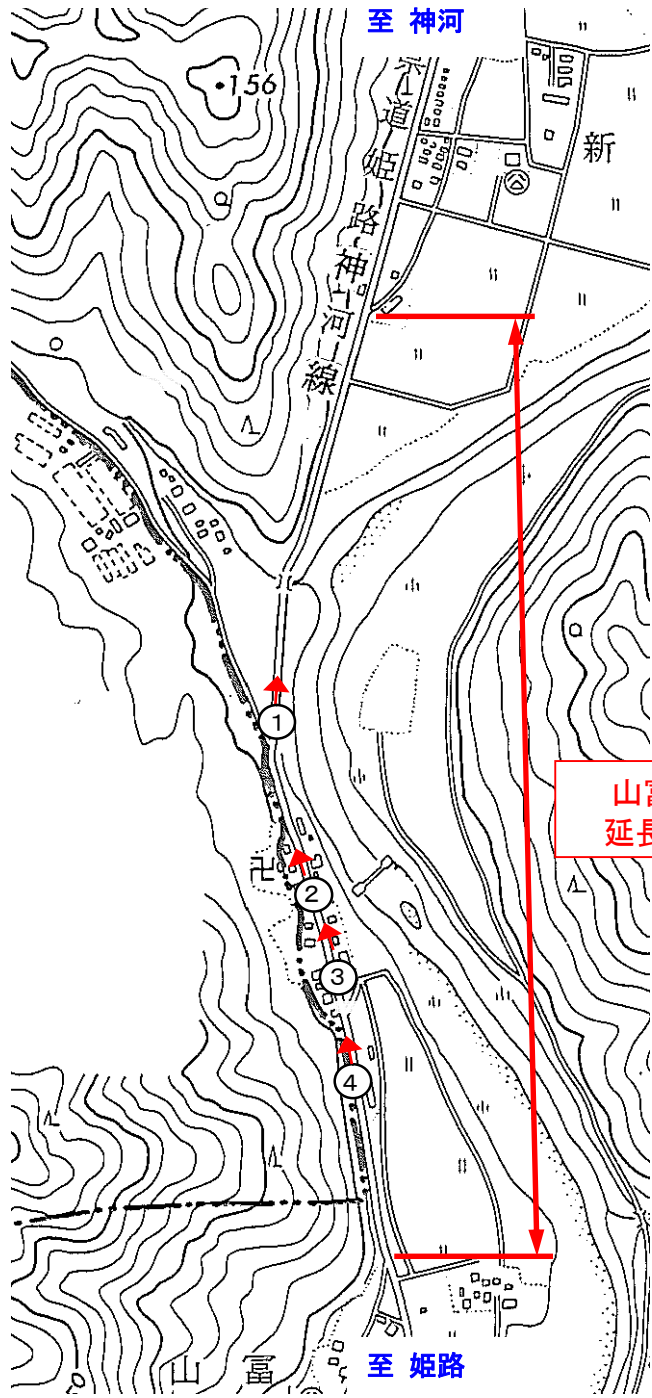
山富工区 延長 840m



凡例	
事業区間	—
県道	—
既設歩道	—
小学校通学路	—



平面图

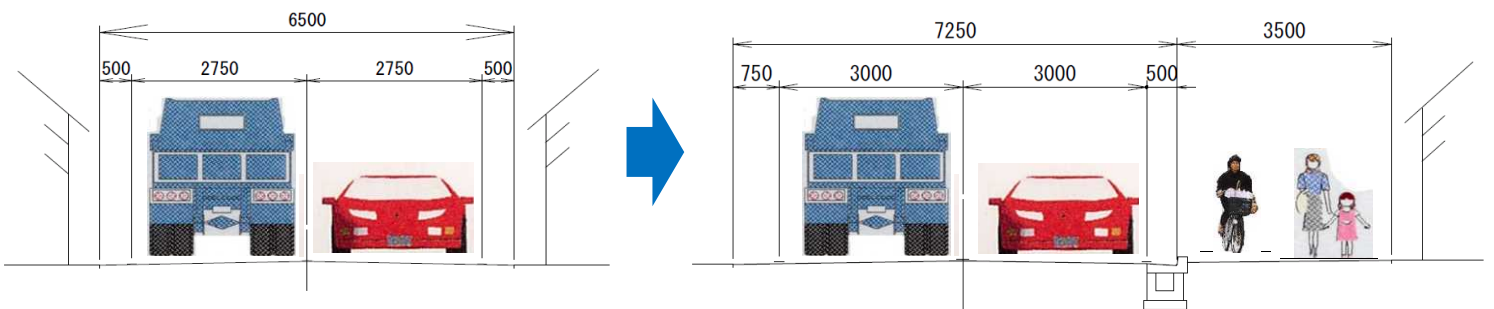


山富工区
延長 840m

標準断面図

現況

計画



自転車・歩行者通行状況



整備スケジュール

工種	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度			
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
測量・設計	■■■■															
用地取得					■■■■				■■■■							
本工事									■■■■				■■■■			